

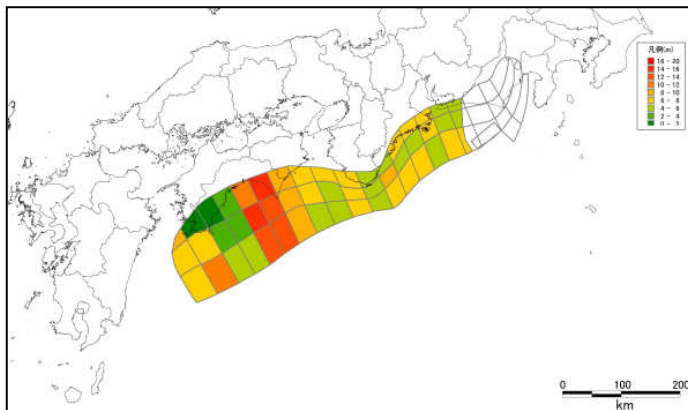
# 発生頻度の高い海溝型（南海トラフ） 地震の震源・波源モデルの 設定について

# 1. 発生頻度の高い海溝型 （南海トラフ）地震の 波源モデルの設定 について

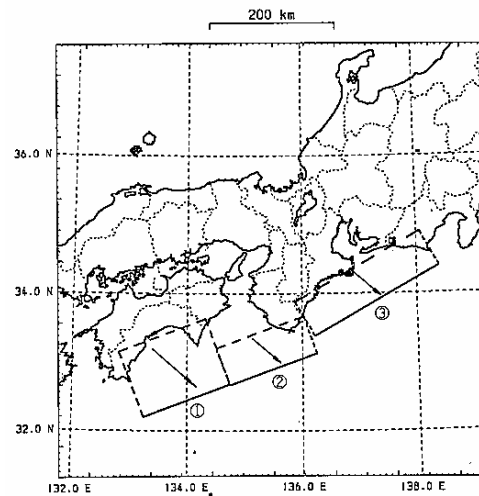
# 発生頻度の高い津波の波源モデル設定の考え方

⇒ 発生頻度の高い津波の波源モデルは、「南海トラフにおける発生頻度の高い津波の基本的な考え方(H24.8.29内閣府公表資料)」を踏まえ、下記3地震を基本に、シミュレーションを実施し、モデルを選定

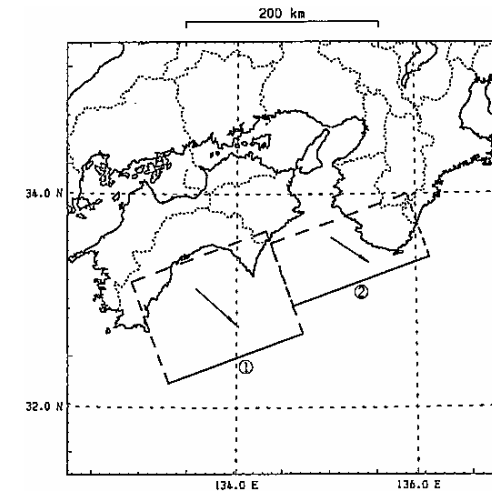
- ① 東南海・南海地震連動モデル(2003中防モデル)
- ② 宝永地震モデル
- ③ 安政南海地震モデル



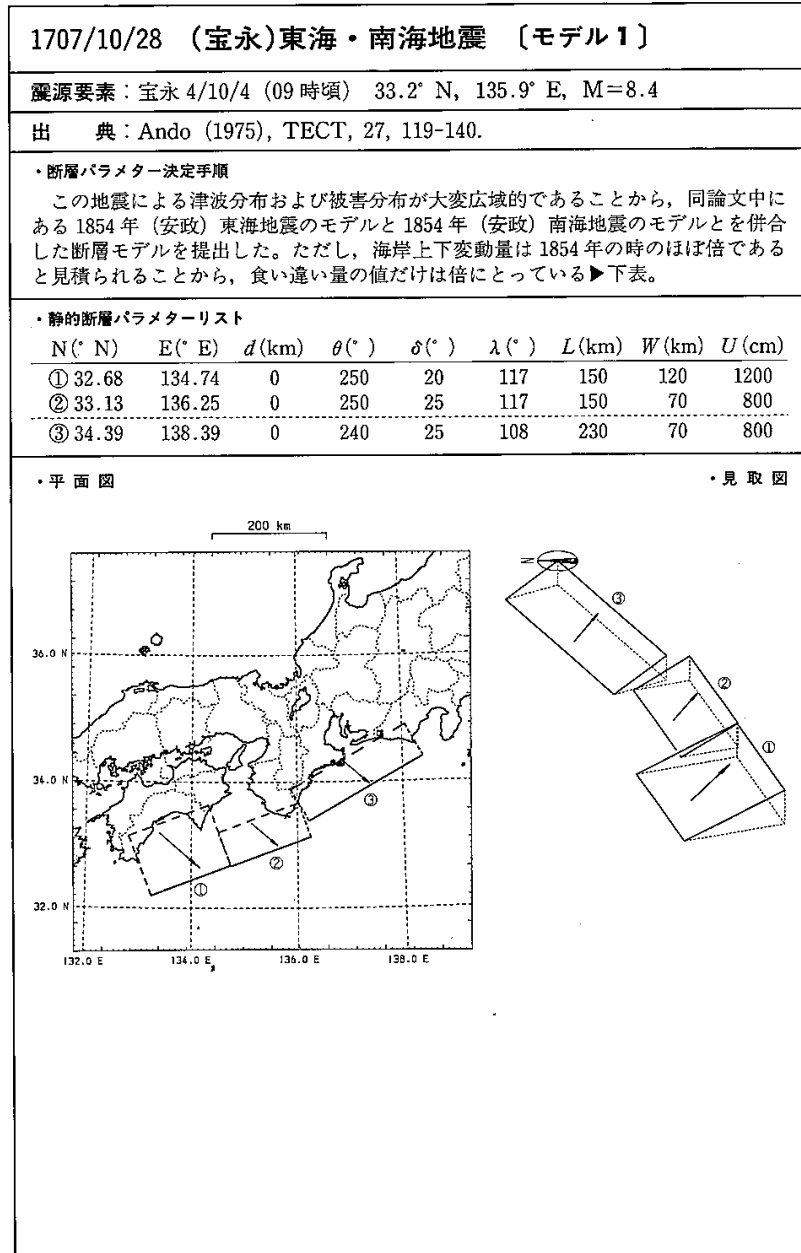
① 東南海・南海地震  
連動モデル



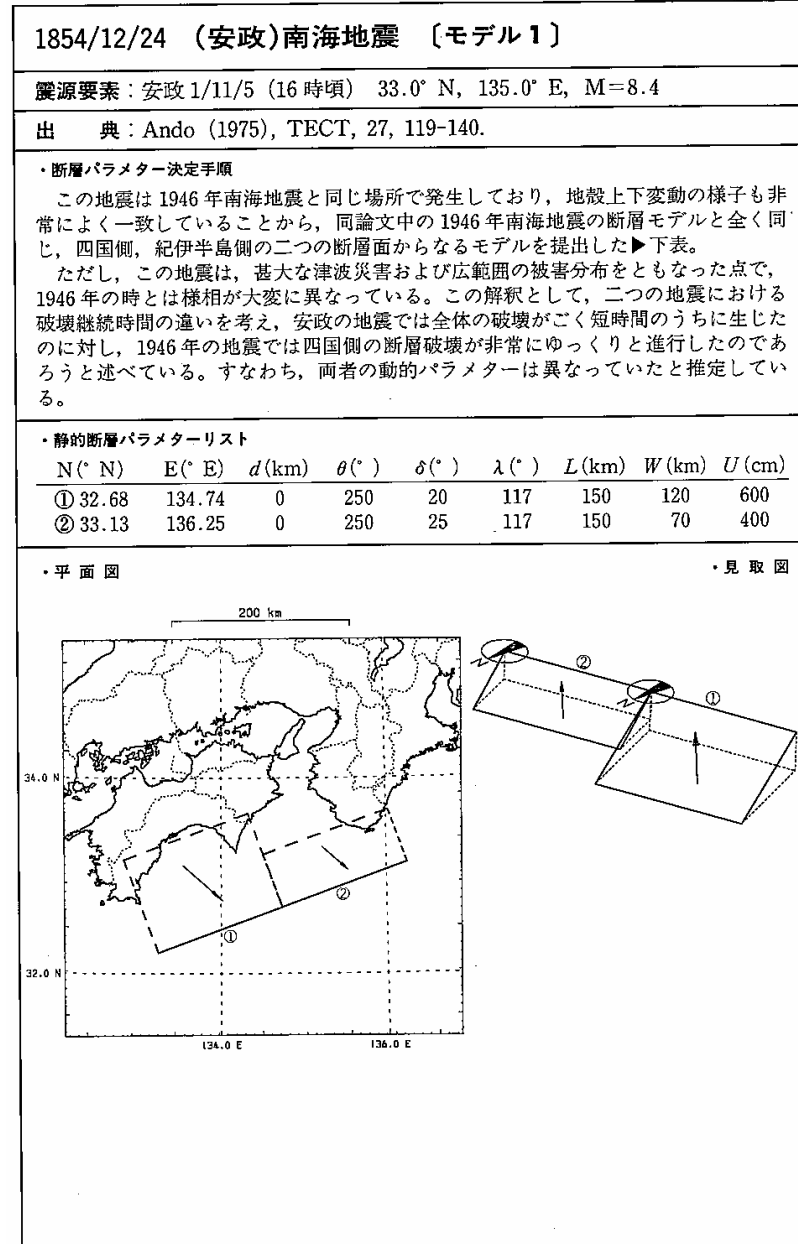
② 宝永地震モデル  
(1707)



③ 安政南海地震モデル  
(1854)



宝永地震モデル



安政南海地震モデル

# 「設計津波の水位の設定方法等」について

## (H23.7.11農林水産省及び国土交通省課長(室長)通知)

### 1.設計津波の設定単位

- ・設計津波は地域海岸ごとに設定することを基本

### 2.「設計津波の水位」の設定方法

#### ①過去に発生した津波の実績高さの整理

- ・痕跡高調査や歴史記録・文献等を活用

#### ②シミュレーションによる津波高さの算出

- ・十分なデータが得られない場合には、シミュレーションを実施しデータを補完
- ・今後、中央防災会議等において検討が進み、想定地震の規模や対象範囲の見直し等が行われた場合は適宜見直すことが必要

#### ③設計津波の対象津波群の設定

- ・地域海岸ごとに、グラフを作成
- ・一定の頻度で発生すると想定される津波の集合を選定

#### ④「設計津波の水位」の設定

- ・上記で設定した対象津波群の津波を対象に、隣接する海岸管理者間で十分調整を図ったうえで、設計津波の水位を海岸管理者が設定

## 2. 発生頻度の高い海溝型 （南海トラフ）地震の 震源モデルの設定 について

# 発生頻度の高い地震の震源モデル設定の考え方

⇒ 発生頻度の高い地震の震源モデルは、発生頻度の高い津波の波源モデルと同一のモデルに設定